



住民自らの行動に結びつく
水害・土砂災害ハザード・リスク
情報共有プロジェクト

各機関からの情報提供

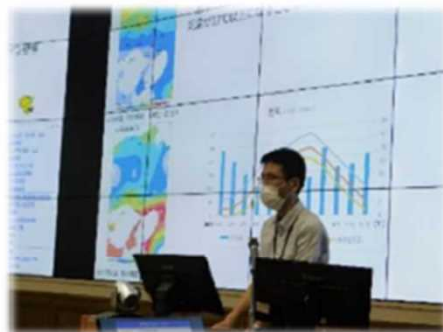
1. 神戸地方気象台からの情報提供
2. 兵庫県からの情報提供
3. 豊岡河川国道事務所からの情報提供
4. 猪名川河川事務所からの情報提供

○地域における気象防災に一層貢献するための取組

<防災気象情報に関するオンライン研修>

令和2年7月2日、兵庫県と気象台の共催で、県内市町をはじめ県出先機関等を対象に、県のTV会議システムを活用して研修を開催しました。

気象台から、兵庫県の地域特性や地域防災支援に関する取組、防災情報の入手方法や活用方法について説明しました。



(予報官による地域特性の説明)

<ひょうご津波・高潮対策シンポジウム>

令和2年8月22日、兵庫県主催のシンポジウムに、藤本台長がパネリストとして参加しました。

有識者や地元関係者をまじえたパネルディスカッションにおいて、藤本台長から、県民に向けてハード対策だけでなくソフト対策をセットで考えていただく事の重要性を訴えました。



(藤本台長の発言、YouTubeによる配信)

<学校防災に関する支援の取組>

気象台では、兵庫県及び神戸市の学校防災アドバイザーに指名されており、その年度の推進校に出向き、児童や教員に対して、防災情報の活用等に関する普及・啓発に取組んでいます。

令和2年7月29日、八鹿小学校での構内研修では、教員を対象にスマホ等を駆使して、防災情報の読み解きについて解説しました。11月18日には、同校の地震訓練にも参加し講話を行いました。



(構内研修の様子)

<報道機関との連携に関する取組>

地元TV局（サンテレビ）との連携を進め、計3回の取材に対応しました。

警戒レベルの活用や台風への備え、今年6月に開始した津波フラッグの導入等について、周知・広報に取組みました。

また、10月には、他の報道機関にも声をかけて、リモートによる勉強会を開催し、更なる連携強化を行いました。



(津波フラッグの広報)

Oe-ラーニング教材「大雨のときにどう逃げる」の提供

～台風・豪雨から「自らの命は自らが守る」基本的な知識ととるべき行動を学ぶ～

eラーニング教材の特徴

- ・ 時間や場所を気にせず誰でも自由に受講できるよう、気象庁ホームページで公開。
- ・ 5つのステップで、自宅の災害リスク、いつ、どこへ避難すべきか*を学習。
- ・ 各ステップごとのふりかえりテストで、重要ポイントを確認しながら学習。
- ・ 誰でもスムーズに学習できる、動画（各15～20分程度、音声解説付）形式の教材。
- ・ できるだけ一方的な説明・解説を避け、受講者にも一緒に考えてもらう教材。

※ 内閣府が「避難の理解力向上キャンペーン」として全国展開する「避難行動判定フロー」「避難情報のポイント」を基本とする内容
(内閣府公開資料) <http://www.bousai.go.jp/fusuigai/typhoonworking/pdf/houkoku/campaign.pdf>



パソコンやスマホ等で
時間や場所を気にせず
自由に受講
(住民の皆さん)

あなたの家の近くの災害リスクを確認しよう

ハザードマップ その他の危険な場所

今の場所、状況に応じた避難行動

災害リスクがない
安全な場所にいる場合

災害リスクの高い場所にいる場合

災害のリスクがない！
そこに居よう！
(安全確保行動)

災害のリスクがある！
リスクの高い場所へ移動！
(立ち退き避難)

「避難行動」は、場所や状況に応じた的確に「難」を「避」けること

音声解説付き動画教材
(教材イメージ)

アドレス：<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jma-el/dounigeru.html>

学習する5つのステップ

01. 避難の理解からはじめよう
(避難を行うためのポイントを理解しよう)
02. あなたの家は大丈夫？
(あなたの家の災害リスクを知ろう)
03. どこに逃げたらいい？
(大雨の時の避難先)
04. 避難するときどうする？
(避難にかかる時間を考えよう)
05. いつ逃げたらいい？
(あなたの避難のタイミングを考えよう)

台風・豪雨時に備えて
・自宅の災害リスク
・いつ避難すべきか
・どこへ避難すべきか
...が学べます。



今回公開する教材に対する受講者からの意見等を踏まえつつ、自主防災組合（自治会）、学校など、様々な団体やグループで学習できるよう、今回の教材の内容をベースとした参加型（ワークショップ）教材を、令和2年秋に公開しました。

※本教材は、諏訪清二先生（兵庫県立大学 特任教授、防災学習アドバイザー・コラボレーター）の助言を受けながら制作しました。

○総合治水の取組を実施

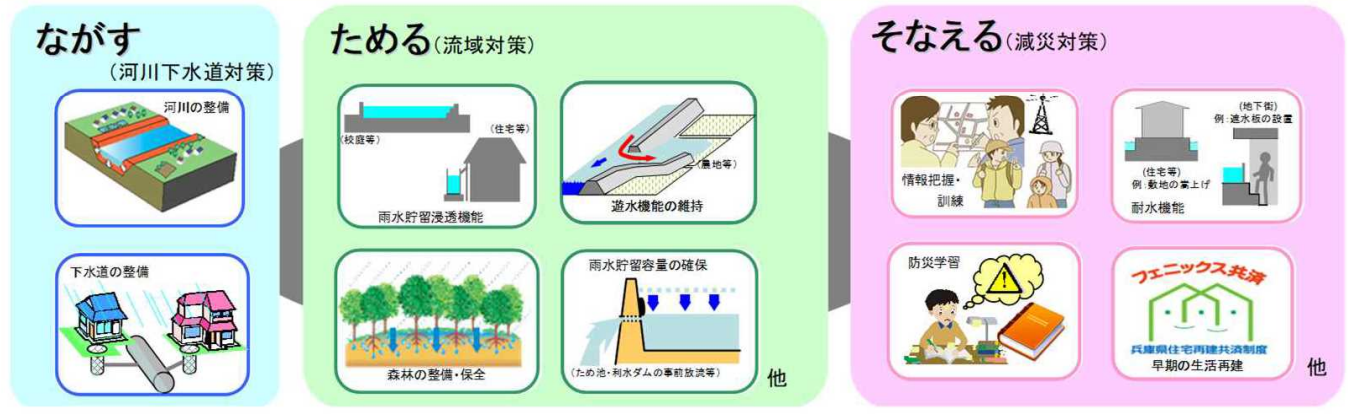
1 「総合治水条例」とは～条例化に至った背景～

- 気候変動に伴う大雨の頻発と浸水被害の激甚化
- 洪水氾濫域に人口・資産が集中
- 高齢化等による浸水被害構造の深刻化

今までよりも浸水被害が拡大

河川・下水道の整備を基本とした
『これまでの治水対策』だけでは、浸水被害を防ぐことが困難に

「ながす」「ためる」「そなえる」対策を組み合わせた総合治水に
流域全体で取組むため、「総合治水条例」を平成24年に制定



1 「総合治水条例」とは～条例の特長～

- ① 総合治水の推進に関するあらゆる施策を示した上で、**県・市町・県民の責務を明確化**
 県・市町・・・施策の策定・実施
 県民・・・雨水流出抑制、災害への備え、施策への協力等
- ② 総合治水に関する施策の計画的な推進を図るため、県土を11の地域に分け、各地域で
「地域総合治水推進計画」を策定する枠組みを規定



- ③ 雨水の流出量が増加する**1ha以上の開発行為**を行う開発者等に対し**「重要調整池」**の設置等を義務化



2 総合治水の取組状況

～ 「ながす」 河川・下水道対策 ～

■ 河川・下水道対策

- 河川整備計画に基づき、戦後最大洪水である平成16年台風23号と同規模の洪水が発生した場合でも、浸水被害の軽減等を図るため、加古川、東条川、杉原川等で河川改修、堰改修、堤防強化等の整備を着実に推進（国・県）
- 下水道計画に基づき、整備を推進するとともに、管きょやポンプ施設等の適切な維持管理を実施（市町）

<令和2年度>

実施中の主な河川対策		
管理者	河川名	事業概要
国	加古川	河床掘削 橋梁改築 築堤等
兵庫県	加古川	河床掘削 堤防強化等
	東条川	河床掘削 護岸等
	美嚢川	堰改築 護岸等
	油谷川	護岸
	杉原川	河床掘削 堰改築等
	水田川	護岸 排水機場等
	喜瀬川	護岸等
	法華山谷川	護岸等
高砂市	松村川	護岸
実施中の主な下水道対策		
西脇市	公共下水道	雨水幹線
加東市	公共下水道	雨水幹線
加古川市	公共下水道	雨水幹線



令和2年7月時点
加古川橋梁改築工事
(加東市・国直轄管理区間)



令和元年度末時点
加古川河床掘削工事
(西脇市・県管理区間)

国の「防災・減災、国土強靱化のための3ヶ年緊急対策」(H30～R2)を活用し、総合治水の取組みを強力に推進。継続した取組には、当該緊急対策の延長や新たな枠組みの創設が必要。


2 総合治水の取組状況

～ 「ためる」流域対策 ～

(R元年度末時点)

■ため池の治水活用

台風期等に水位を下げ、雨水貯留容量を確保



ため池栓の開閉により水位を調整

ため池治水活用のイメージ

■田んぼダム

水田の排水柵にセキ板を設置し、雨水を一時的に貯留



通常時(取り組み前)

セキ板設置時(取り組み後)

セキ板

ためる

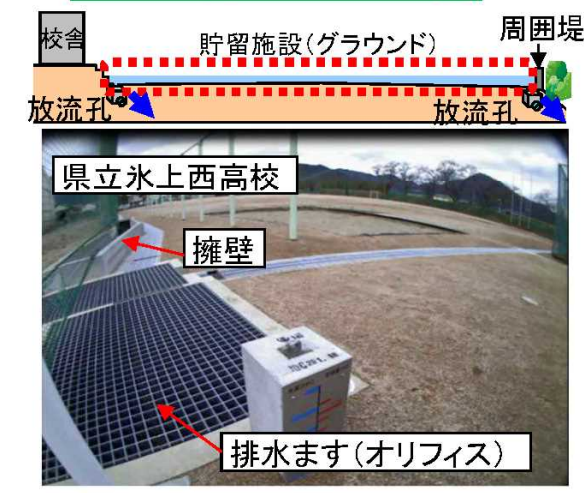
10cm程度

■校庭貯留

校庭に^{しゅういいてい}周囲堤、^{ほうりゅうこう}放流孔を設置し、雨水を一時的に貯留

イメージ図

大雨時に、校庭で雨を一時的に貯留



校舎

貯留施設(グラウンド)

周囲堤

放流孔

放流孔

県立氷上西高校

擁壁

排水ます(オリフィス)

TOPIC 利水容量を活用した事前放流等により、**既存ダムの洪水調節機能を強化**
 (利水関係者の協力のもと、「加古川水系治水協定」を締結[令和2年5月])
 対象ダム: みくまりダム、つばいちダム、つばいちほちまんだにダム、八幡谷ダム、佐仲ダム、藤岡ダム、ごんげんダム、権現ダム、鴨川ダム、どんどどダム、呑吐ダム、大川瀬ダム、糞屋ダム
 ○その他、各戸貯留、透水性舗装、雨水浸透ます、駐車場貯留等の取組を行っています。

2 総合治水の取組状況

～「そなえる」減災対策～

・計画地域内での主な取組

- ①洪水浸水想定区域等（想定最大規模）を令和2年5月までに計画区域内の全125河川で公表（県）
- ②不動産関連団体向けに、水害（洪水）リスクに関する情報の解説等を実施（県）
- ③約670の自治会で手づくりハザードマップを作成（県民）
- ④電柱広告を活用した防災情報表示（神戸市、加古川市、三木市、高砂市）
- ⑤県立東播工業高校と連携し、生徒が作成した総合治水模型を用いて出前講座等を実施（県、高校）
- ⑥法華山谷川本川の水位上昇時の背水による浸水被害解消のため、合流する支川沿いに輪中堤^{わじゅうてい}を整備（加古川市）



手づくりハザードマップ作成状況
（丹波篠山市）



電柱広告を活用した防災情報表示
（左：高砂市、右：三木市）



総合治水模型を用いた出前講座
（県立東播工業高校）



輪中堤による背水対策
（法華山谷川水系）

○その他、ひょうご防災ネットによる情報発信、防災行政無線の整備、フェニックス共済への加入促進等の取組を行っています。

3 地域総合治水推進計画のフォローアップ

- 推進計画の着実な推進を図るため、フォローアップシートを作成
- 進捗状況の把握や見直しを行い、その結果を毎年度公表

どこで・何を・誰が

計画(黒字)

実績(赤字)

(フォローアップシートの抜粋)

箇所・取組	事業概要	実施主体	事業量		期間[黒字:計画、赤字:実績]												備考
			全体	うち計画期間内	~H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6~	
1 河川下水道対策																	
河川対策																	
加古川	未往・大島地区 (16.2k~18.6k) 掘削・築堤	国	L=2,400m														加古川水系河川整備計画に基づき事業促進
	小野地区 (23.1k) 橋梁改築	国	1橋	1橋													加古川水系河川整備計画に基づき事業促進
	社・河合地区 (28.6k~28.4k) 河道掘削、築堤、堰改築、橋梁改築	国	L=1,800m														加古川水系河川整備計画に基づき事業促進
	社・河合地区 (28.4k~30.6k) 掘削、築堤	国	L=2,200m														加古川水系河川整備計画に基づき事業促進
	社・滝野地区 (30.7k~32.5k) 築堤	国	L=1,800m														加古川水系河川整備計画に基づき事業促進
	滝野・多井田地区 (32.5k~33.8k) 掘削、築堤	国	L=1,300m														加古川水系河川整備計画に基づき事業促進
	滝野・多井田地区 (33.8k~35.0k) 掘削、築堤、橋梁改築	国	L=1,200m														加古川水系河川整備計画に基づき事業促進

4 総合治水対策の効果事例（モデル地区）

■西脇市黒田庄町福地地区

○平成25年台風第18号で約20haが浸水し、道路やJR線路の冠水の外、住宅では床上4戸、床下31戸の浸水被害が発生。
 ○地区住民によるため池水位下げなどの行動計画を地元タイムラインとしてH27に作成。以降、タイムラインに沿って毎年防災訓練を実施。
 ○県・市で「ながす」「ためる」「そなえる」の浸水対策計画を策定し、平成28年度に県が加古川本川の河床掘削を、西脇市が堤防嵩上げ（福地川）や雨水ポンプ場の整備を完了。
 ○平成30年7月豪雨による出水では、浸水被害のあった平成25年の台風18号と同程度の雨量（24時間）であったが、福地川堤防整備による宅地側への越水量の低減、雨水ポンプによる排水に、地元の取組（ため池事前放流）、水田貯留、事前ゲート操作）も加わり、宅地側の浸水を水田にとどめ、住宅の被害を「ゼロ」とした。



○ため池治水活用拡大促進事業を実施

＜兵庫県独自の制度＞

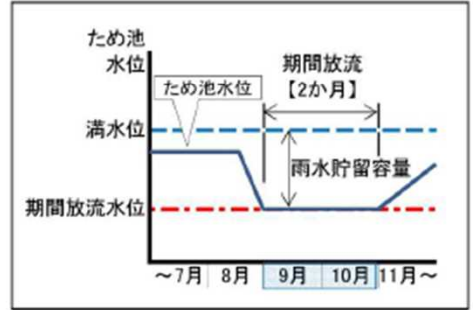
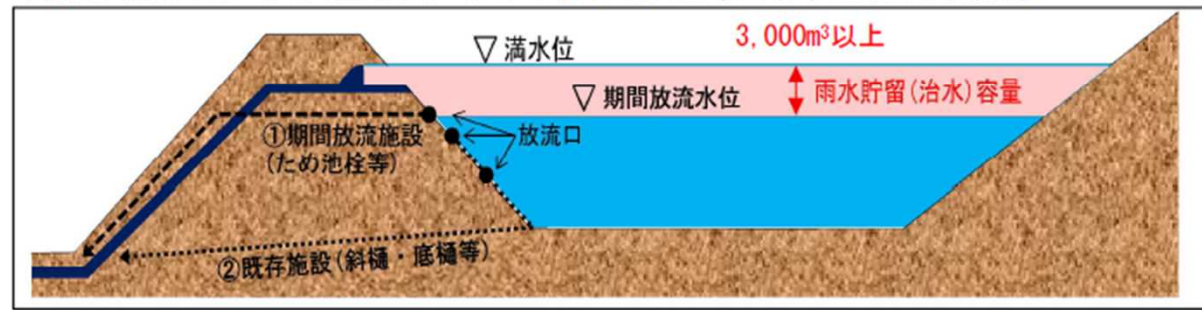
■ため池治水活用拡大促進事業

ため池管理者が台風期等に行う期間放流[※]の取組支援にあわせて、総合治水条例の「指定貯水施設」に指定することにより、将来にわたって雨水貯留容量を確保する補助事業を平成30年度に創設した。

区分	条件
対象ため池	台風期等に水位を下げ、3,000m ³ 以上の雨水貯留容量を確保するため池
対象市町	本事業を対象とした助成制度を有する市町
負担割合	県：市町=1：1
補助単価	35,000円／月・箇所（定額）
補助期間	最大3年（最大補助額：2ヶ月×35,000円×3年=21万円）

ため池治水活用の取組イメージ

①新たに設置する放流施設や、②既存の施設を利用し、翌年の営農に支障のない範囲で期間を定めて水位を下げ、雨水貯留(治水)容量を確保



※期間放流：利水容量の一部を台風期の前に放流して数ヶ月間水位を下げたままで維持

兵庫県北部を流れる円山川



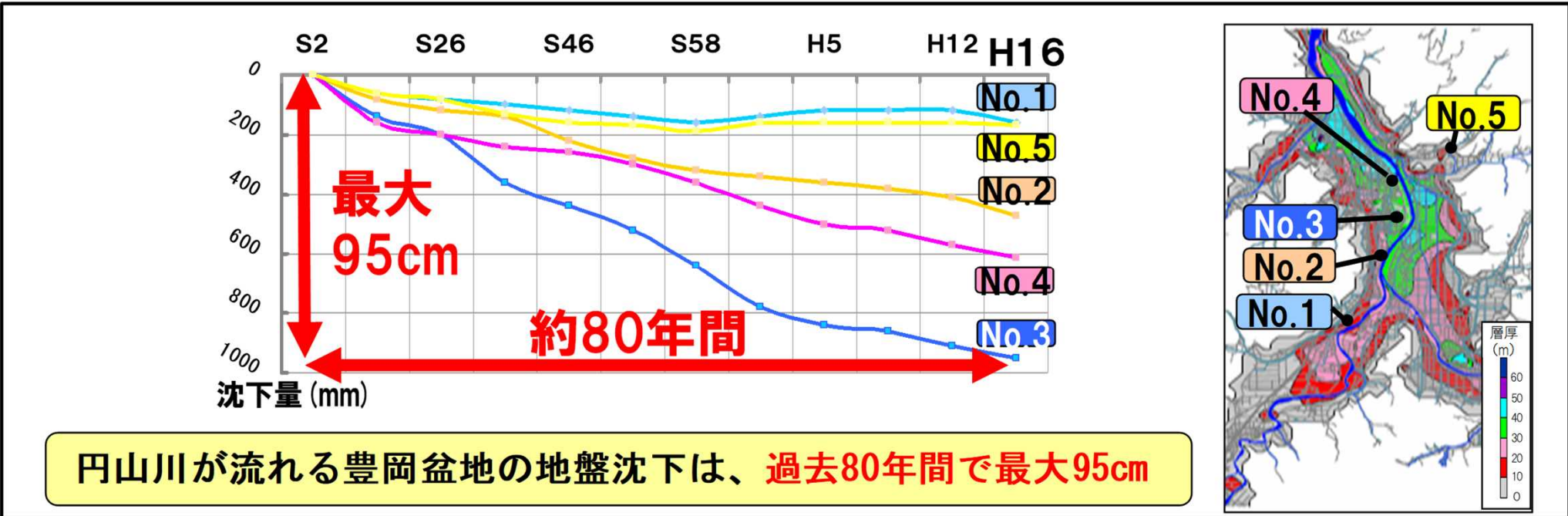
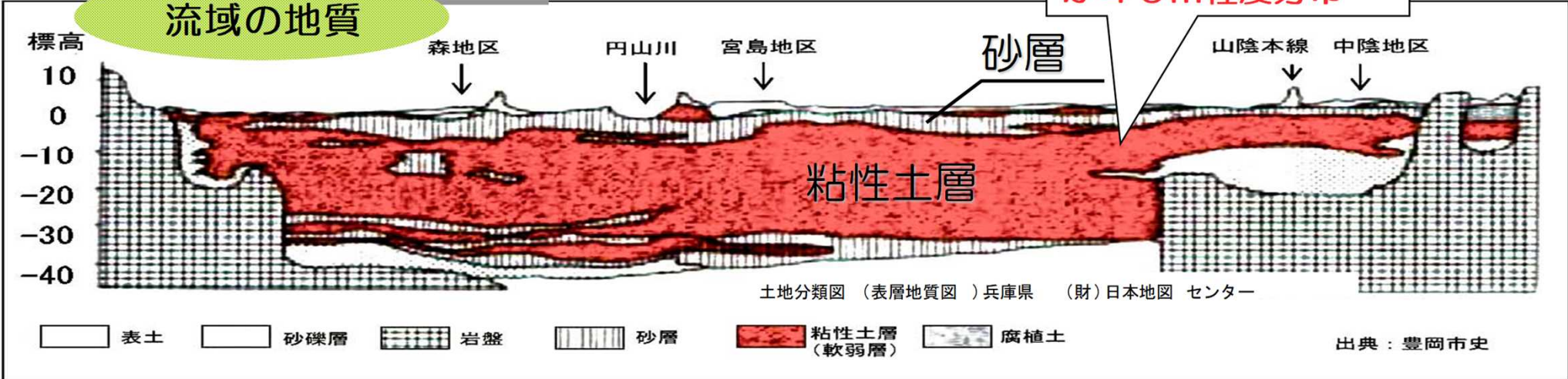
円山川は兵庫県中央部の朝来市生野町円山を源に、県北部の朝来市、養父市、豊岡市を経て、日本海に注ぐ一級河川

項目	諸元
幹川流路延長	68km
流域面積	1,300km ²
流域市町	3市
流域内人口	約14万人(2011)
支川数	95支川

円山川の特徴①

① 緩い粘性土層が存在し、地盤沈下が進んでいる

豊岡盆地は粘性土層が40m程度分布



円山川が流れる豊岡盆地の地盤沈下は、過去80年間で最大95cm

円山川の特徴②

- 上流からの複数の支川が豊岡盆地で合流 ⇒ 洪水が集中し易い
- 下流部(豊岡盆地)は河床勾配が緩い ⇒ 集まった洪水が停留し易い
- 河口部は両岸に山が迫り狭い ⇒ 洪水が海に吐き出され難い

洪水氾濫が
起こり易い

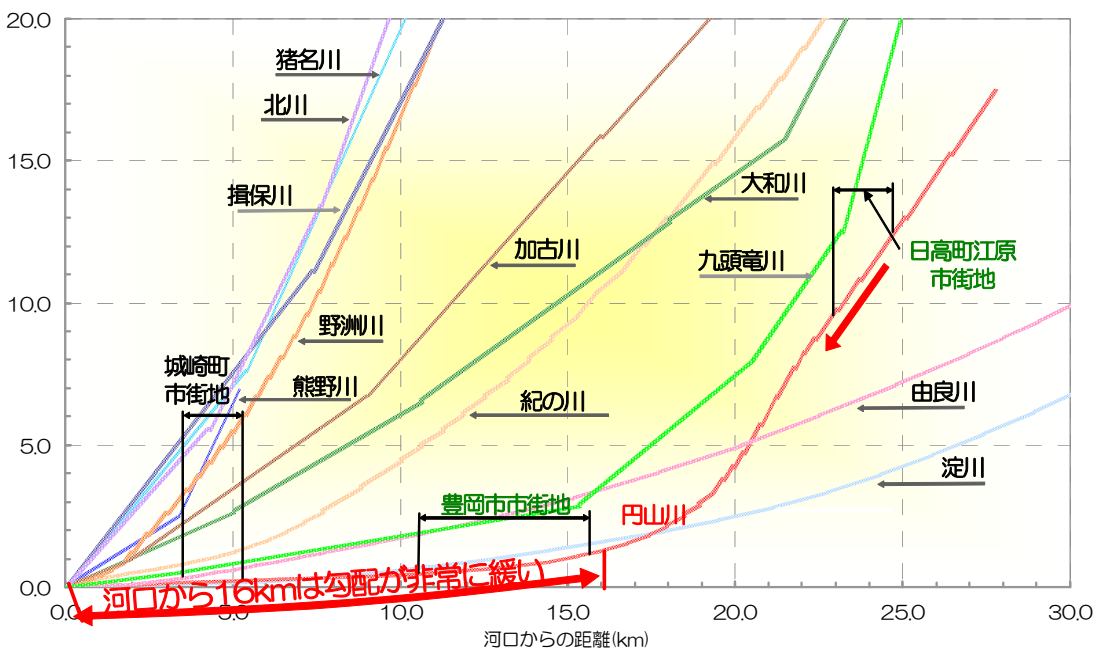
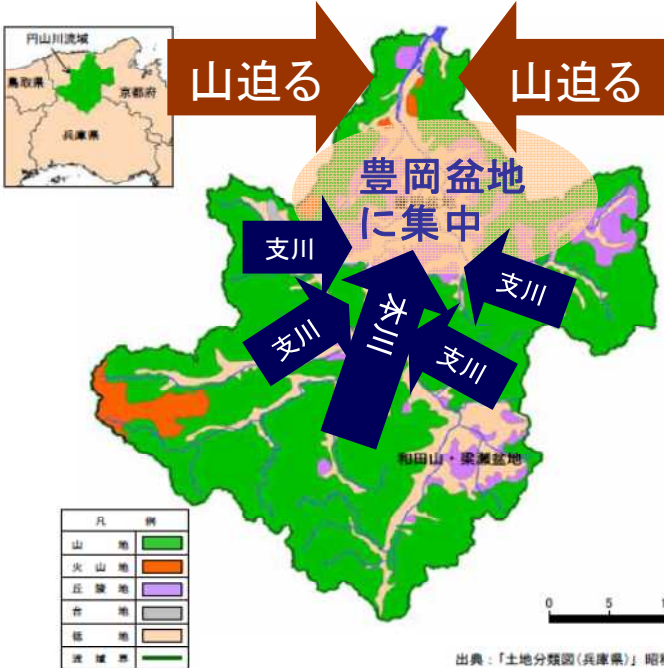


図 1-2 円山川流域地形図

出典: 『土地分類図(兵庫県)』昭
経済企画庁総合開発局より

普段は鏡の面のように穏やかな流れ



【流域の概要】過去の災害実情

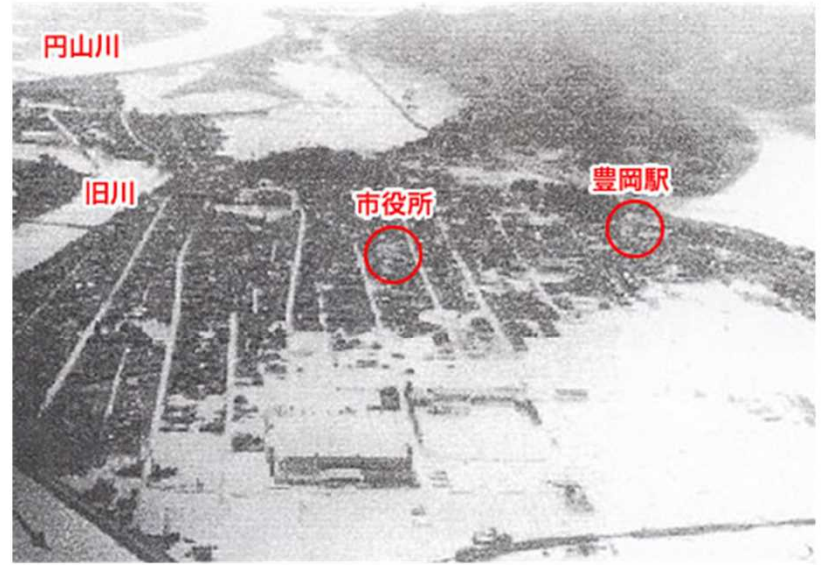
- 昭和34年9月の伊勢湾台風では、浸水家屋16,833戸、浸水面積16,926haの甚大な被害が発生。
- 平成16年10月の台風23号により、観測史上最大の洪水(立野地点4,900m³/s)が発生し、円山川右岸13.2k(豊岡市立野地先)や出石川左岸5.3k(豊岡市出石町鳥居地先)で堤防が決壊するなど、豊岡市全体で、死者7名、浸水家屋7,944戸、浸水面積4,083ha等の甚大な被害が発生。
- 近年では、観測史上第3位の流量を記録した平成30年7月梅雨前線による出水では、豊岡市全体で163戸の家屋浸水が発生。

■ 既往洪水の概要

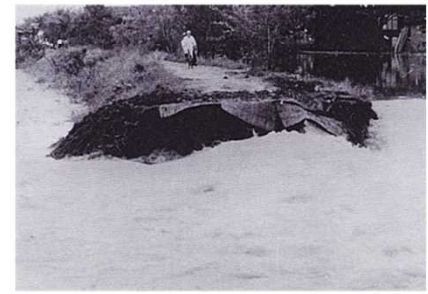
発生年月日	原因	洪水流量 (m ³ /s) 立野地点	被害の状況
S34.9.26	伊勢湾台風	4,500*	浸水被害16,833戸、浸水面積16,926ha
S36.9.16	第2室戸台風	2,624	浸水被害1,933戸、浸水面積2,303ha
S47.7.12	梅雨前線及び台風6号	2,786	浸水被害749戸、面積1,715ha
S51.9.10	台風17号	2,595	浸水被害2,855戸、面積2,115ha
S54.10.19	台風20号	2,461	浸水被害610戸、面積185ha
H2.9.20	台風19号	3,064	浸水被害2,212戸、面積1,923ha
H16.10.20	台風23号	4,900*	浸水被害7,944戸、面積4,083ha
H21.8.9	台風9号	3,090	浸水被害77戸、面積346ha
H30.7.5~9	梅雨前線	3,882	浸水被害163戸、浸水面積不明

出典：円山川流域の概要(S63.3、建設省河川局)(S34.9洪水)
 出水報告(S36.9洪水)
 水害統計(S47.7洪水、S51.9洪水、S54.10洪水、H2.9洪水)
 但馬県民局調べ(H16.10洪水(H17.3時点)、H21.8洪水)
 豊岡市役所調べ(被害状況(7/19現在)H30.7洪水)
 ※流出計算による推定流量

昭和34年伊勢湾台風



豊岡市外地の浸水状況

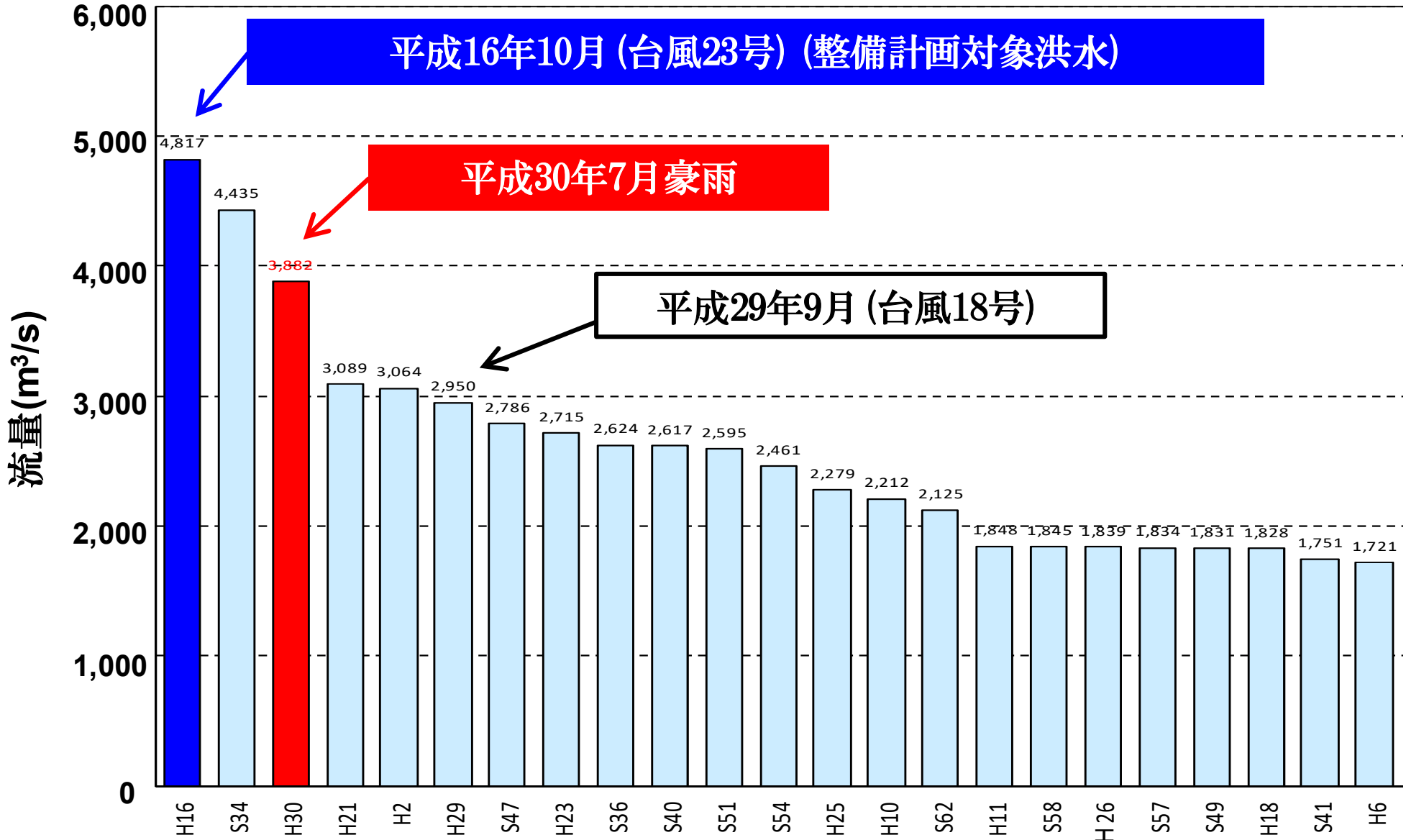


奈佐川の堤防決壊



流された日置橋

年間最大流量(豊岡市立野)

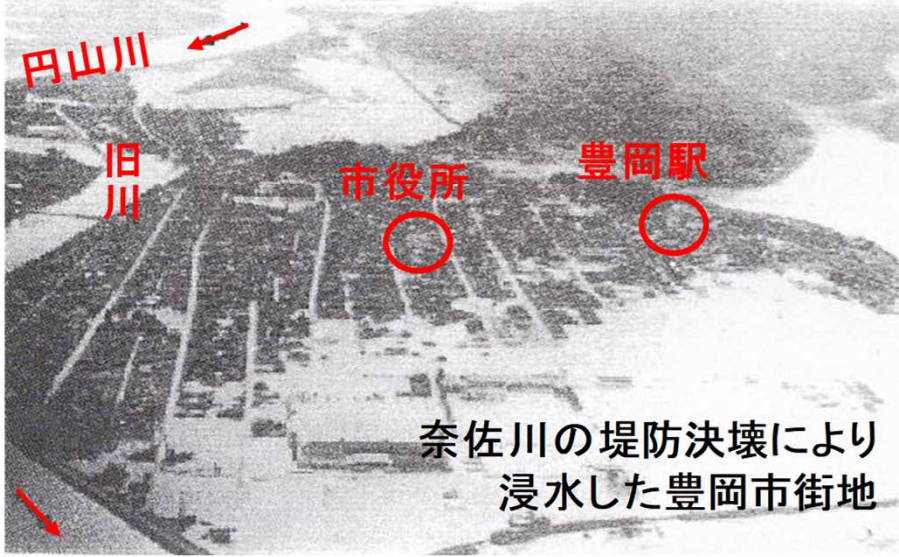
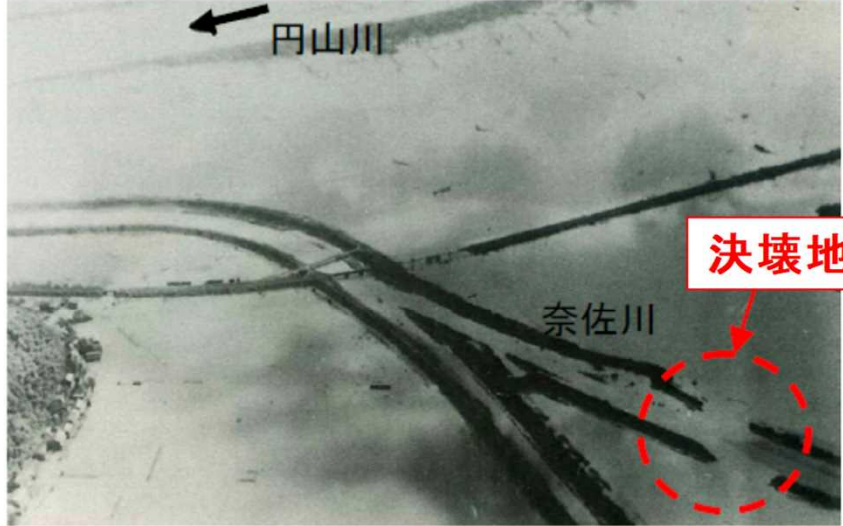


円山川(立野)の年最大流量

過去(H15年以前)の主な洪水

昭和34年9月26日洪水(伊勢湾台風、台風15号)

出石川左岸、奈佐川左右岸で堤防決壊

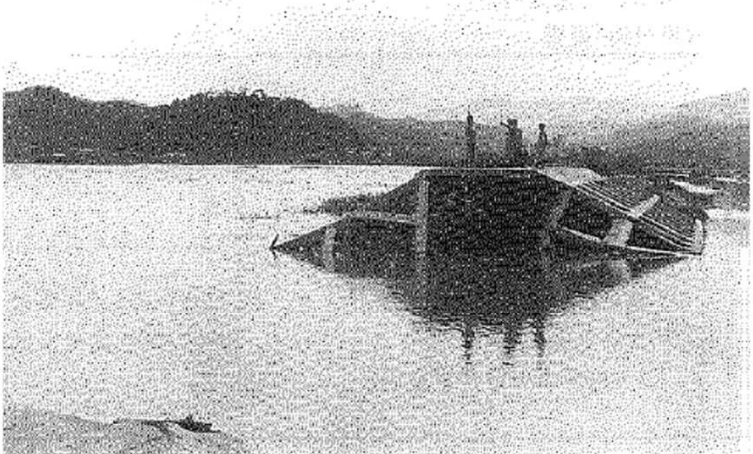


被害状況	
浸水面積	16,926ha (農地・宅地の別不明)
被災家屋	16,833戸 (床上・床下内訳不明)
立野水位	水位 7.42m
流域平均2日雨量	253mm

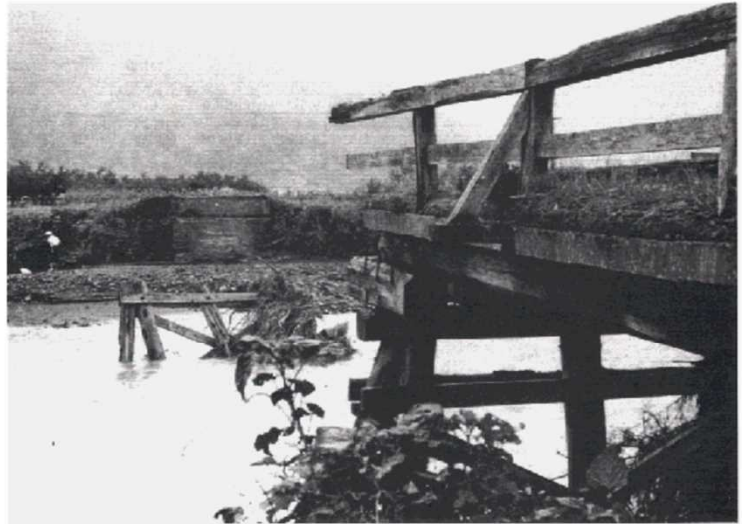
過去(H15年以前)の主な洪水

昭和36年9月洪水(第二室戸台風)

奈佐川右岸で堤防決壊



奈佐川右岸の堤防決壊状況



激流により崩壊した上郷橋



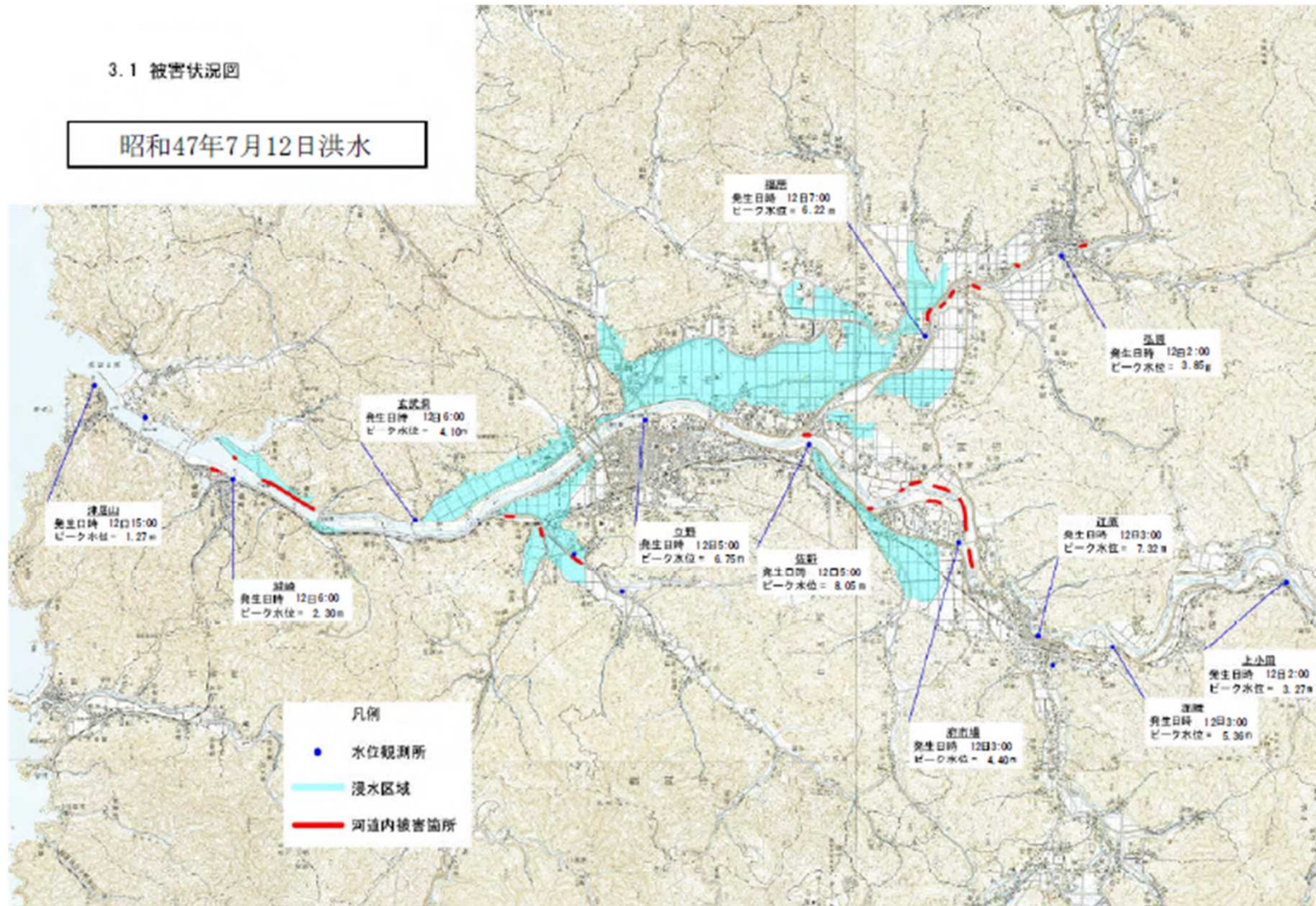
増水による護岸の流出

被害状況	
浸水面積	2,031ha (農地・宅地の別不明)
被災家屋	1,933戸 (床上・床下内訳不明)
立野水位	水位 6.87m
流域平均2日雨量	184mm

過去(H15年以前)の主な洪水

昭和47年7月(梅雨前線及び台風6号)

○台風6号では、2日間の流域平均雨量が217.5mm、立野水位6.75mを記録
 浸水面積1,715ヘクタール、浸水被害749戸の被害が発生。



過去(H15年以前)の主な洪水

昭和51年9月10日洪水(台風17号及び秋雨前線)



奈佐川(森津) 堤防溢水の状況



豊岡市内の浸水状況



堀川橋付近の状況

被害状況	
浸水面積	2,153ha (農地1,914ha・宅地等240ha)
被災家屋	3,022戸 (床上1,215戸・床下1,807戸)
立野水位	水位 6.92m
流域平均2日 雨量	322mm

過去(H15年以前)の主な洪水

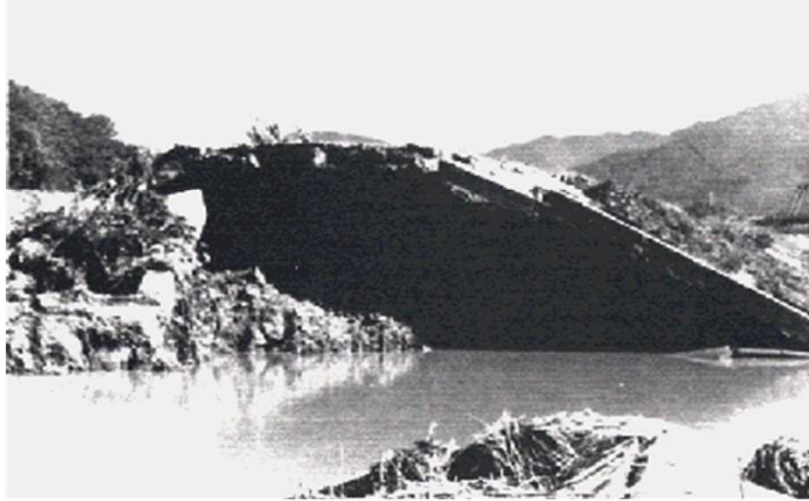
昭和54年10月(台風20号)



豊岡市福田地区(奈佐川決壊による浸水)



豊岡市日撫地区(六方川の増水)



奈佐川左岸の決壊状況

被害状況	
浸水面積	185ha (農地169ha・宅地等17ha)
被災家屋	610戸 (床上98戸・床下512戸)
立野水位	水位 6.75m
流域平均2日雨量	220mm

過去(H15年以前)の主な洪水

平成2年9月20日洪水(秋雨前線及び台風19号)



六方平野の浸水状況



豊岡市内の浸水状況

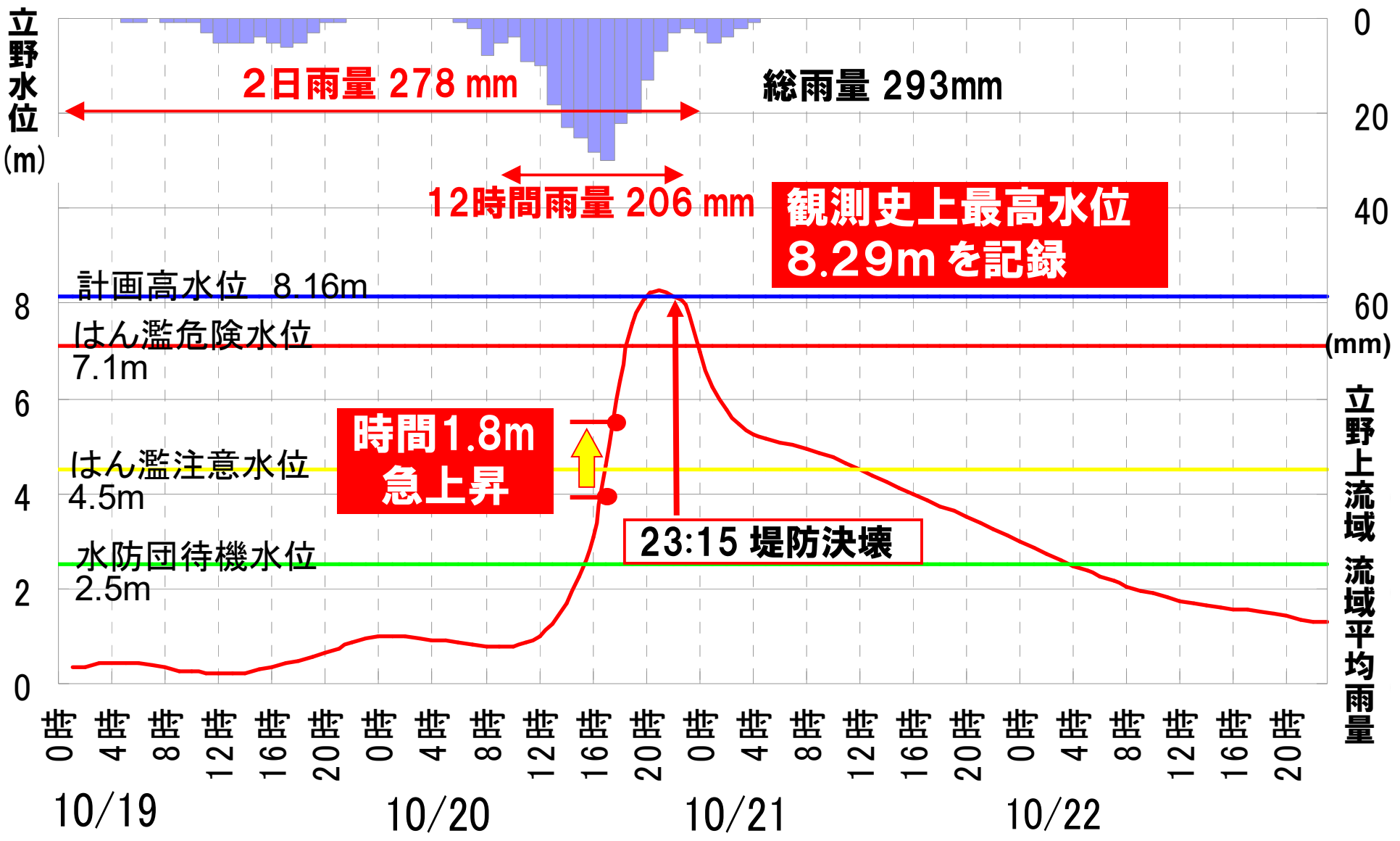


土のう積み 円山川右岸(豊岡市江本)

被害状況	
浸水面積	1,924ha (農地1,803ha・宅地等121ha)
被災家屋	2,212戸 (床上896戸・床下1,316戸)
立野水位	水位 7.12m
流域平均2日雨量	364mm

平成16年10月20日洪水(台風23号)による被害

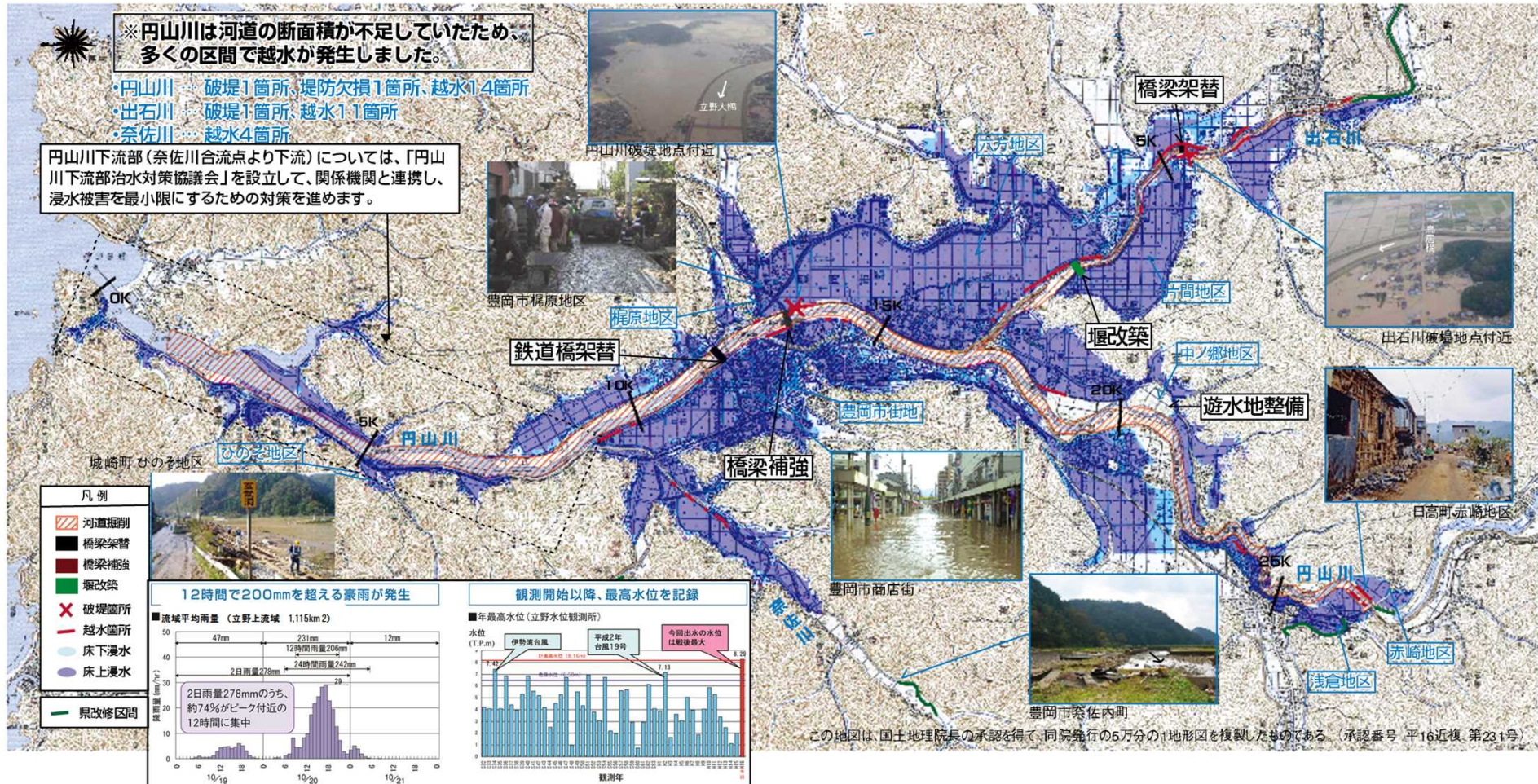
平成16年 台風23号の水位と雨量(豊岡市立野)



平成16年10月20日洪水(台風23号)による被害

平成16年台風23号出水の概要

- ◆平成16年10月20日の18時頃、近畿地方に上陸した台風23号は、円山川流域に豪雨をもたらし、円山川の六方地区、出石川の片間地区では破堤による甚大な被害が生じ死者7名、負傷者51名、浸水面積4,083㎡、浸水家屋7,944戸(うち、家屋全壊321戸、半壊一部損壊3,962戸)に及ぶ壊滅的な被害が発生。
- ◆立野上流域の流域平均2日雨量が278mmでその内12時間雨量が206mmの豪雨が発生。
- ◆立野水位観測所で計画高水位を超える観測史上最高水位を記録。



平成16年10月20日洪水(台風23号)による被害

平成16年 台風23号の被害

死者 7人 負傷者 51人 浸水面積 4,083ha
家屋全半壊 4,033戸 浸水戸数 7,944戸



平成16年10月20日洪水(台風23号)による被害

平成16年 台風23号の被害



平成16年10月20日洪水(台風23号)による被害

平成16年 台風23号の被害



平成16年10月20日洪水(台風23号)による被害

一部堤防欠損(円山川 一日市地区)



平成16年10月20日洪水(台風23号)による被害

平成16年 台風23号による被災状況



本川 立野地区 堤防決壊



出石川 鳥居地区 堤防決壊



豊岡病院 (内水)



豊岡市街地 (内水)

平成16年10月20日洪水(台風23号)による被害

全国から排水ポンプ車(24台)が応援



平成16年台風23号による浸水状況

平成17年以降の被害

平成21年8月(台風第9号)



ひのそ地区(円山川左岸6.6k付近)



戸島地区(円山川右岸4.2k付近)
としま

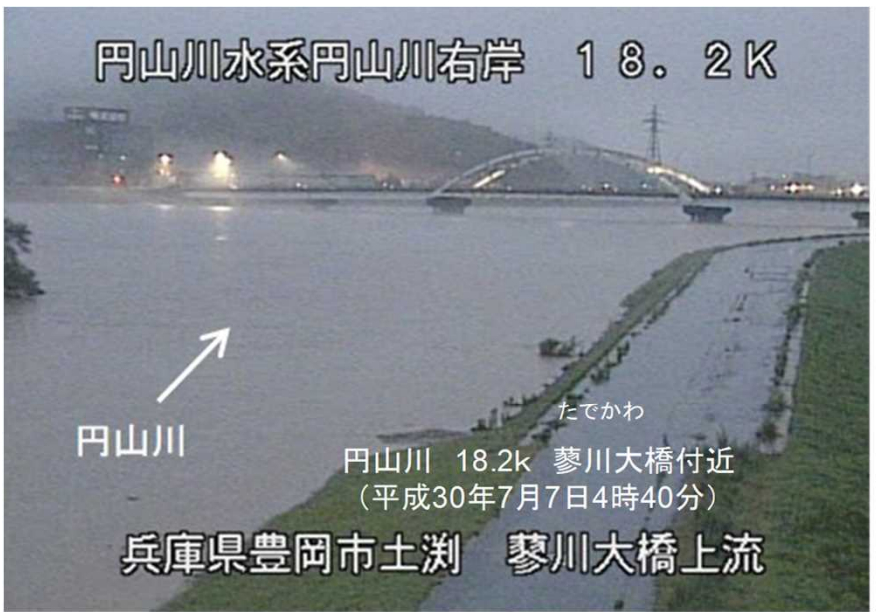


豊岡市 北近畿タンゴ鉄道橋梁

被害状況	
浸水面積	195ha (農地・宅地の別不明)
被災家屋	48戸 (床上20戸・床下28戸)
立野水位	水位 6.26m
流域平均2日雨量	188mm

平成17年以降の被害

平成30年7月豪雨(梅雨前線)



被害状況	
浸水面積	1,070ha (農地・宅地の別不明)
被災家屋	134戸 (床上15戸・床下119戸)
立野水位	水位 6.96m
流域平均2日雨量	327mm

簡易型河川監視用カメラ



円山川4.10k付近(右岸)戸島地区

簡易型河川監視用カメラ

簡易型河川監視用カメラの設置

■R元年度に、円山川、支川出石川及び奈佐川の直轄管理区間全川28箇所に渡り、簡易型監視カメラを設置

円山川(出石川合流部下流)10箇所、同(合流部上流)8箇所、出石川6箇所、奈佐川4箇所

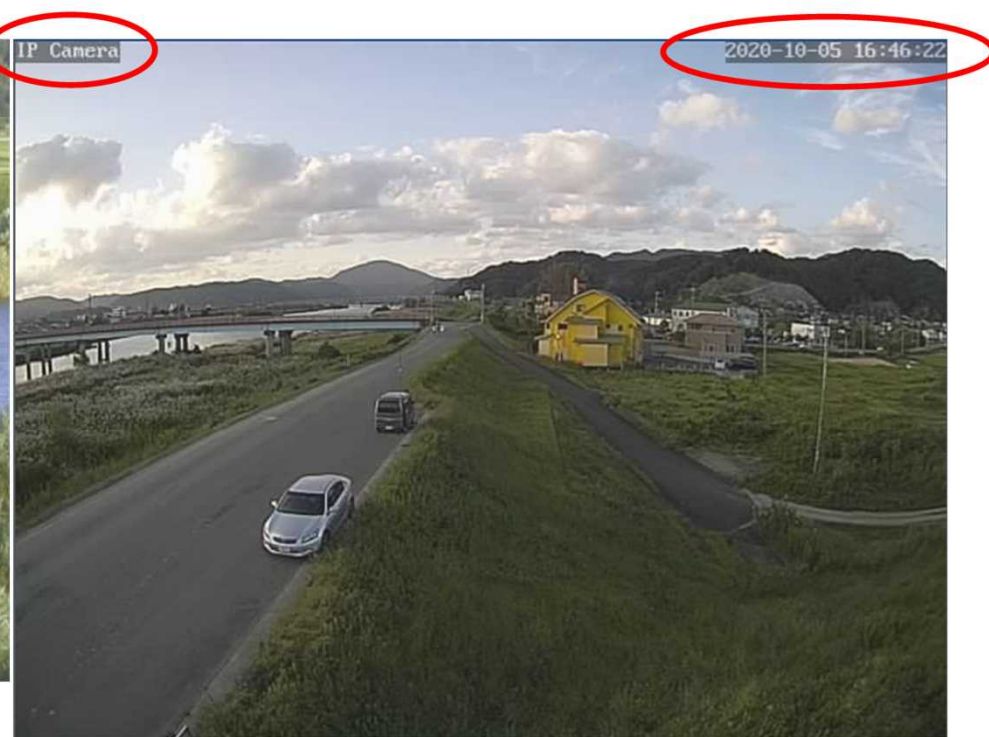
■設置したカメラの画像については、川の水位情報：<https://k.river.go.jp/>で公開

CCTV

- ・リアルタイムの映像を配信
- ・アングル、ズームの調整可能
- ・位置のプリセットが可能

簡易型監視カメラ

- ・10分間隔の静止画像を配信
- ・アングル、ズーム固定



簡易型河川監視用カメラ

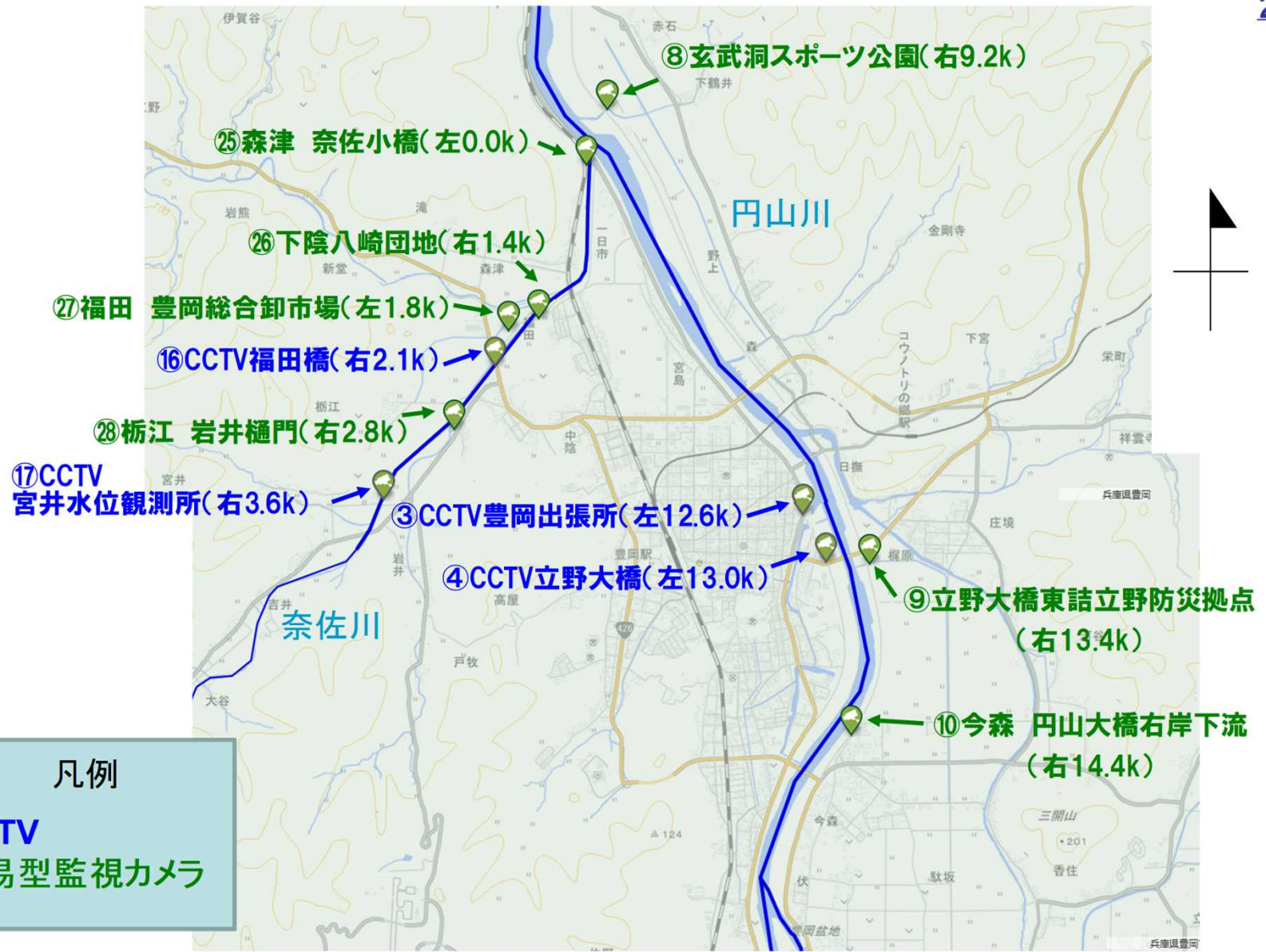
河川監視用カメラの位置 1/4

凡例
CCTV
簡易型監視カメラ



簡易型河川監視用カメラ

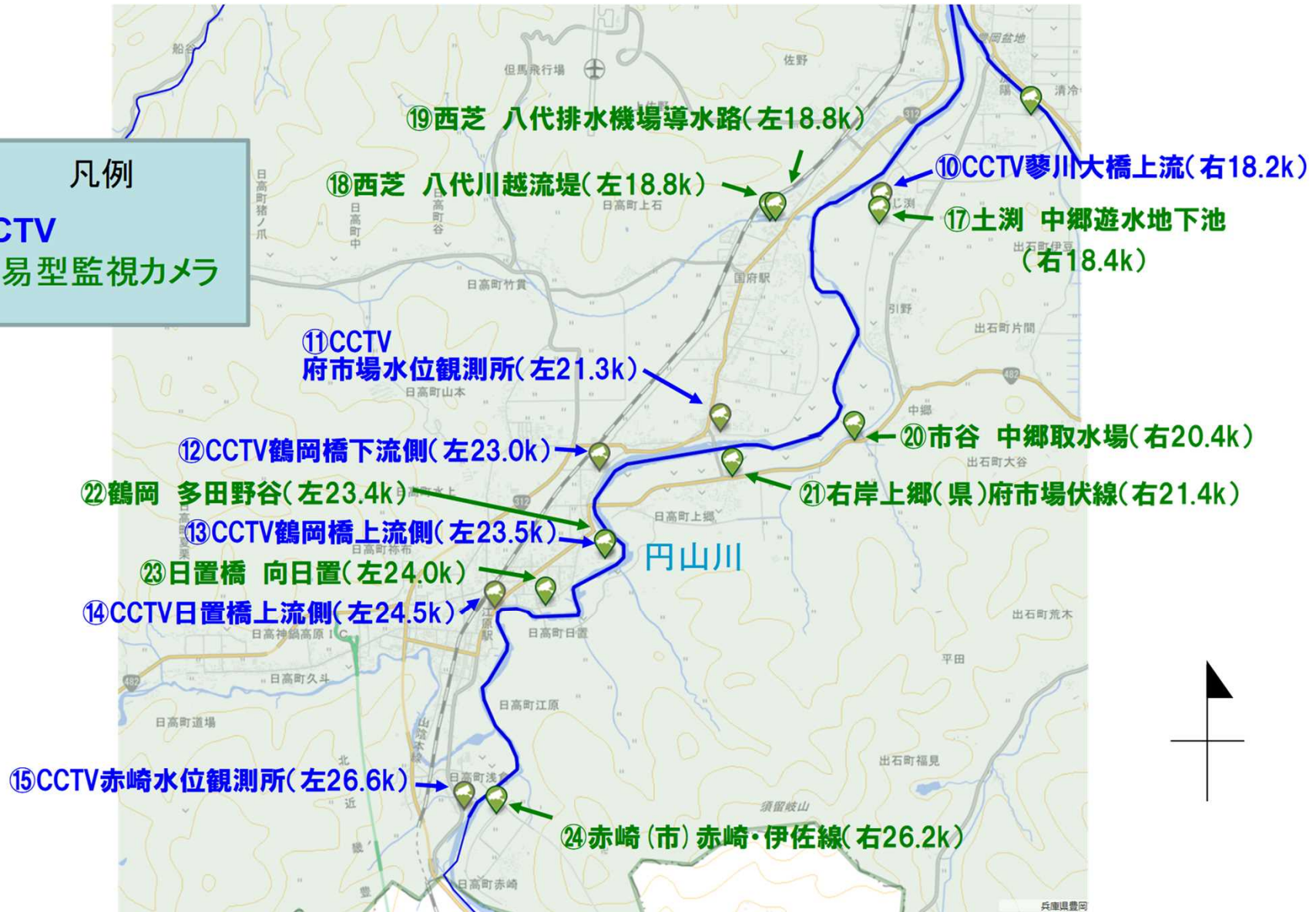
河川監視用カメラの位置 2/4



簡易型河川監視用カメラ

河川監視用カメラの位置 3/4

凡例
 CCTV
 簡易型監視カメラ

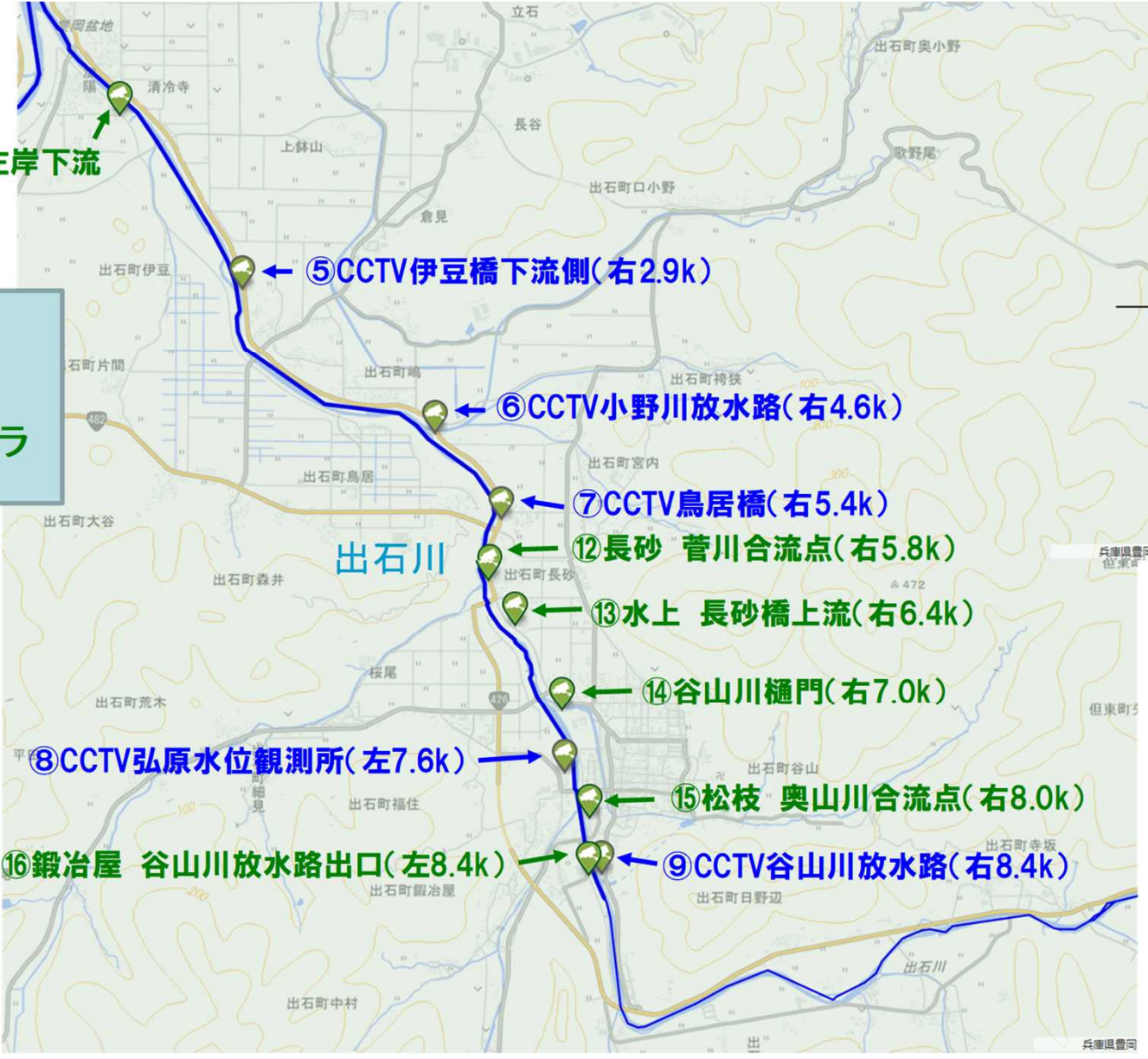


簡易型河川監視用カメラ

河川監視用カメラの位置 4/4

⑪加陽 五条大橋左岸下流
(左0.6k)

凡例
CCTV
簡易型監視カメラ



⑤CCTV伊豆橋下流側(右2.9k)

⑥CCTV小野川放水路(右4.6k)

⑦CCTV鳥居橋(右5.4k)

⑫長砂 菅川合流点(右5.8k)

⑬水上 長砂橋上流(右6.4k)

⑭谷山川樋門(右7.0k)

⑧CCTV弘原水位観測所(左7.6k)

⑮松枝 奥山川合流点(右8.0k)

⑯鍛冶屋 谷山川放水路出口(左8.4k)

⑨CCTV谷山川放水路(右8.4k)

簡易型河川監視用カメラ

簡易型河川監視用カメラの名称

	カメラ名	読み仮名（ふりがな）	設置住所	読み仮名（ふりがな）
①	円山川 小島岸壁	まるやまがわ おしまがんぺき	豊岡市小島	とよおかしおしま
②	円山川 城崎水門(大谷町)	まるやまがわ きのさきすいもん（おたにちょう）	豊岡市城崎町湯島	とよおかしきのさきちょうゆしま
③	円山川 (新)城崎大橋東詰	まるやまがわ（しん）きのさきおおはしひがしづめ	豊岡市城崎町楽々浦	とよおかしきのさきちょうささうら
④	円山川 飯谷川楽々浦湾(舟小屋)	まるやまがわ はんだにがわささうらん（ふなごや）	豊岡市城崎町楽々浦	とよおかしきのさきちょうささうら
⑤	円山川 城崎町今津(観音浦)	まるやまがわ きのさきちょういまづ（かんのうら）	豊岡市城崎町戸島	とよおかしきのさきちょうとしま
⑥	円山川 結和橋東詰 県道交差点	まるやまがわ ゆうわばしひがしづめ けんどうこうさてん	豊岡市城崎町結	とよおかしきのさきちょうむすぶ
⑦	円山川 上来日 J Rガード下	まるやまがわ かみくるひじえいあーるがーどした	豊岡市城崎町来日	とよおかしきのさきちょうくるひ
⑧	円山川 玄武洞スポーツ公園	まるやまがわ げんぶどうすぽーつこうえん	豊岡市	とよおかし
⑨	円山川 立野大橋東詰立野防災拠点	まるやまがわ たちのおおはしひがしづめたちのぼうさいきよてん	豊岡市立野	とよおかしたちの
⑩	円山川 今森 円山大橋右岸下流	まるやまがわ いまもり まるやまおおはしうがんかりゅう	豊岡市今森	とよおかしいまもり
⑪	出石川 加陽 五条大橋左岸下流	いずしがわ かや ごじょうおおはしさがんかりゅう	豊岡市加陽	とよおかしかや
⑫	出石川 長砂 菅川合流点	いずしがわ ながすな すげかわごうりゅうてん	豊岡市出石町長砂	とよおかしいずしちょうながすな
⑬	出石川 水上 長砂橋上流	いずしがわ むながい ながすなばしじょうりゅう	豊岡市出石町水上	とよおかしいずしちょうむながい
⑭	出石川 谷山川樋門	いずしがわ たにやまがわひもん	豊岡市出石町弘原	とよおかしいずしちょうひろはら
⑮	出石川 松枝 奥山川合流点	いずしがわ まつがえ おくやまがわごうりゅうてん	豊岡市出石町松枝	とよおかしいずしちょうまつがえ
⑯	出石川 鍛冶屋 谷山川放水路出口	いずしがわ かじや たにやまがわほうすいろでぐち	豊岡市出石町鍛冶屋	とよおかしいずしちょうかじや
⑰	円山川 土淵 中郷遊水地下池	まるやまがわ ひじうち なかのごうゆうすいしもしいけ	豊岡市土淵	とよおかしひじうち
⑱	円山川 西芝 八代川越流堤	まるやまがわ にししば やしろがわえつりゅうてい	豊岡市日高町東芝	とよおかしひだかちょうひがししば
⑲	円山川 西芝 八代排水機場導水路	まるやまがわ にししば やしろはいすいきじょうどうすいろ	豊岡市日高町東芝	とよおかしひだかちょうひがししば
⑳	円山川 市谷 中郷取水場	まるやまがわ いちだに なかのごうしゅすいじょう	豊岡市日高町上郷	とよおかしひだかちょうかみのごう
㉑	円山川 右岸上郷(県)府市場伏線	まるやまがわ うがんかみのごう（けん）ふいちばふしせん	豊岡市日高町上郷	とよおかしひだかちょうかみのごう
㉒	円山川 鶴岡 多田野谷	まるやまがわ つるおか たたのや	豊岡市日高町鶴岡	とよおかしひだかちょうつるおか
㉓	円山川 日置橋 向日置	まるやまがわ ひおきばし むこうひおき	豊岡市日高町鶴岡	とよおかしひだかちょうつるおか
㉔	円山川 赤崎(市)赤崎・伊佐線	まるやまがわ あかさき（し）あかさき・いざせん	豊岡市日高町赤崎	とよおかしひだかちょうあかさき
㉕	奈佐川 森津 奈佐小橋	なさがわもりづ なさこばし	豊岡市森津 奈佐小橋	とよおかしもりづなさこばし
㉖	奈佐川 下陰八崎団地	なさがわ しもかげはっさきだんち	豊岡市下陰	とよおかししもかげ
㉗	奈佐川 福田 豊岡総合卸市場	なさがわ ふくだ とよおかそうごうおろしいちば	豊岡市福田	とよおかしふくだ
㉘	奈佐川 栃江 岩井樋門	なさがわ とちえ いわいひもん	豊岡市栃江	とよおかしとちえ

簡易型河川監視用カメラ

CCTVカメラの名称

番号	カメラ名称	読み仮名(ふりがな)	河川名	左右区分	キロポスト
①	城崎大橋	きのさきおおはし	円山川	右岸	3.6
②	結和橋上流	ゆうわばしじょうりゅう	円山川	右岸	5.2
③	豊岡出張所	とよおかしゅっちょうしょ	円山川	左岸	12.6
④	立野大橋	たちのおおはし	円山川	左岸	13.0
⑤	伊豆橋下流側	いずばしかりゅうがわ	出石川	右岸	2.6
⑥	小野川放水路	おのがわほうすいろ	出石川	右岸	4.6
⑦	鳥居橋	とりいばし	出石川	右岸	5.4
⑧	弘原水位観測所	ひろはらすいいかんそくしょ	出石川	左岸	7.6
⑨	谷山川放水路	たにやまがわほうすいろ	出石川	右岸	8.4
⑩	蓼川大橋上流	たでかわおおはしじょうりゅう	円山川	右岸	18.2
⑪	府市場水位観測所	ふいちばすいいかんそくしょ	円山川	左岸	21.3
⑫	鶴岡橋下流側	つるおかばしかりゅうがわ	円山川	左岸	23.0
⑬	鶴岡橋上流側	つるおかばしじょうりゅうがわ	円山川	左岸	23.5
⑭	日置橋上流側	ひおきばしじょうりゅうがわ	円山川	左岸	24.5
⑮	赤崎水位観測所	あかさきすいいかんそくしょ	円山川	左岸	26.6
⑯	福田橋	ふくだばし	奈佐川	右岸	2.1
⑰	宮井水位観測所	みやいすいいかんそくしょ	奈佐川	右岸	3.6

危機管理型水位計



奈佐川右岸3.0k(柝江) 水位計写真

危機管理型水位計

水位計の設置

■H29年度に、円山川、支川出石川及び奈佐川の直轄管理区間全川24箇所に、危機管理型水位計を設置

円山川(出石川合流部下流)7箇所、同(合流部上流)9箇所、出石川3箇所、奈佐川5箇所

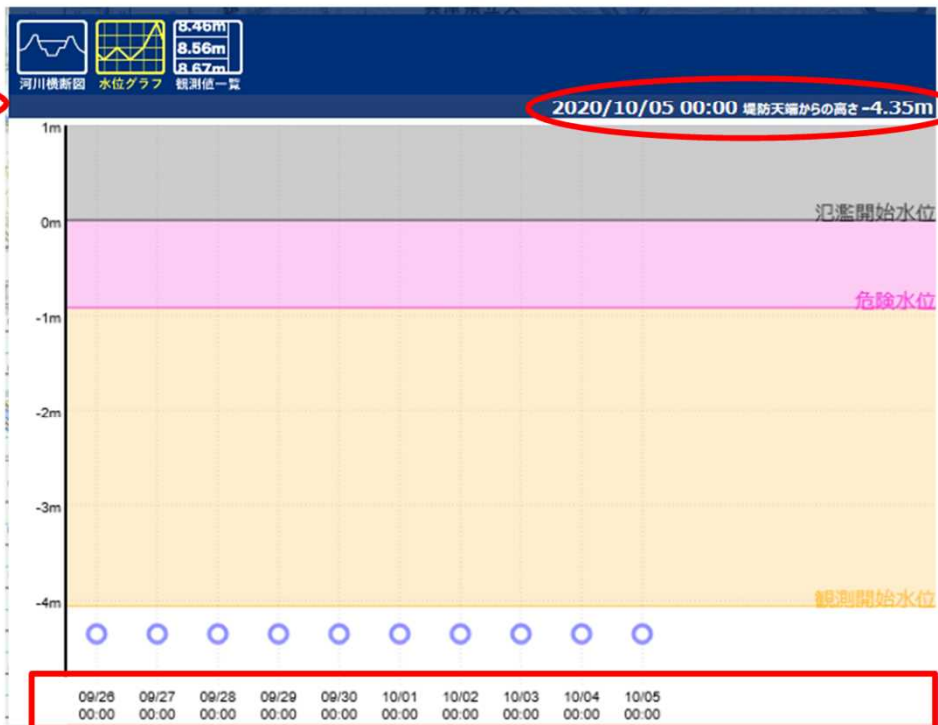
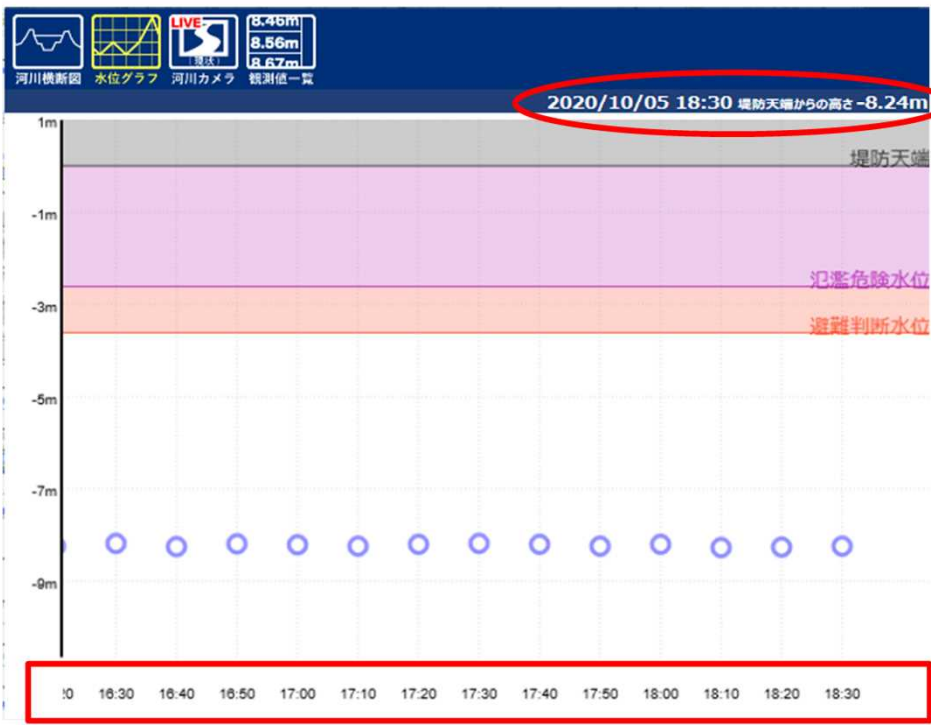
■設置した水位データについては、川の水位情報:<https://k.river.go.jp/>で公開



- ・常時10分間隔データを配信
- ・低水位から測定可能

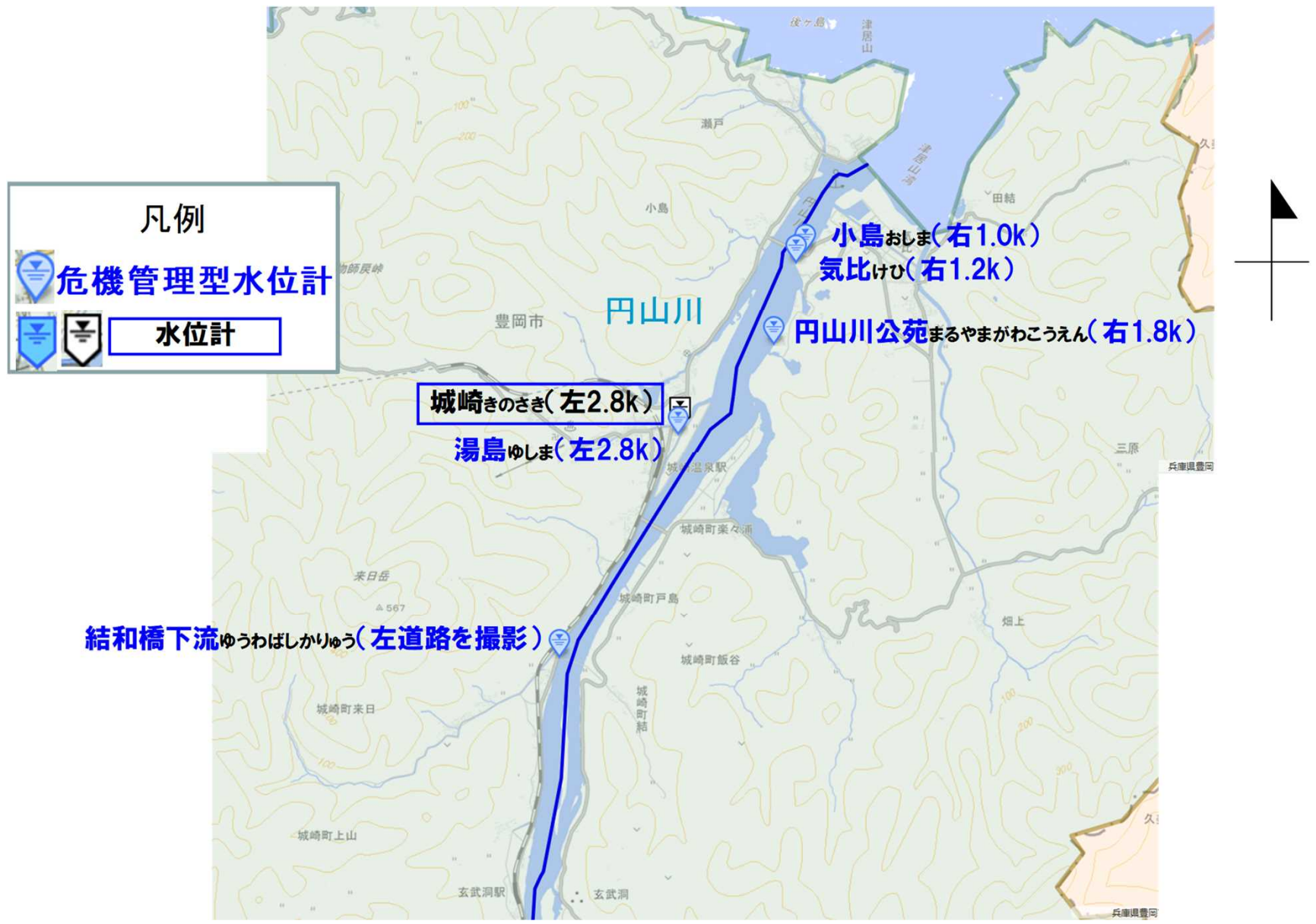


- ・設置箇所以上の水位で10分間隔で観測
- ・設置箇所以下の水位では、1日1度の死活データ配信のみ



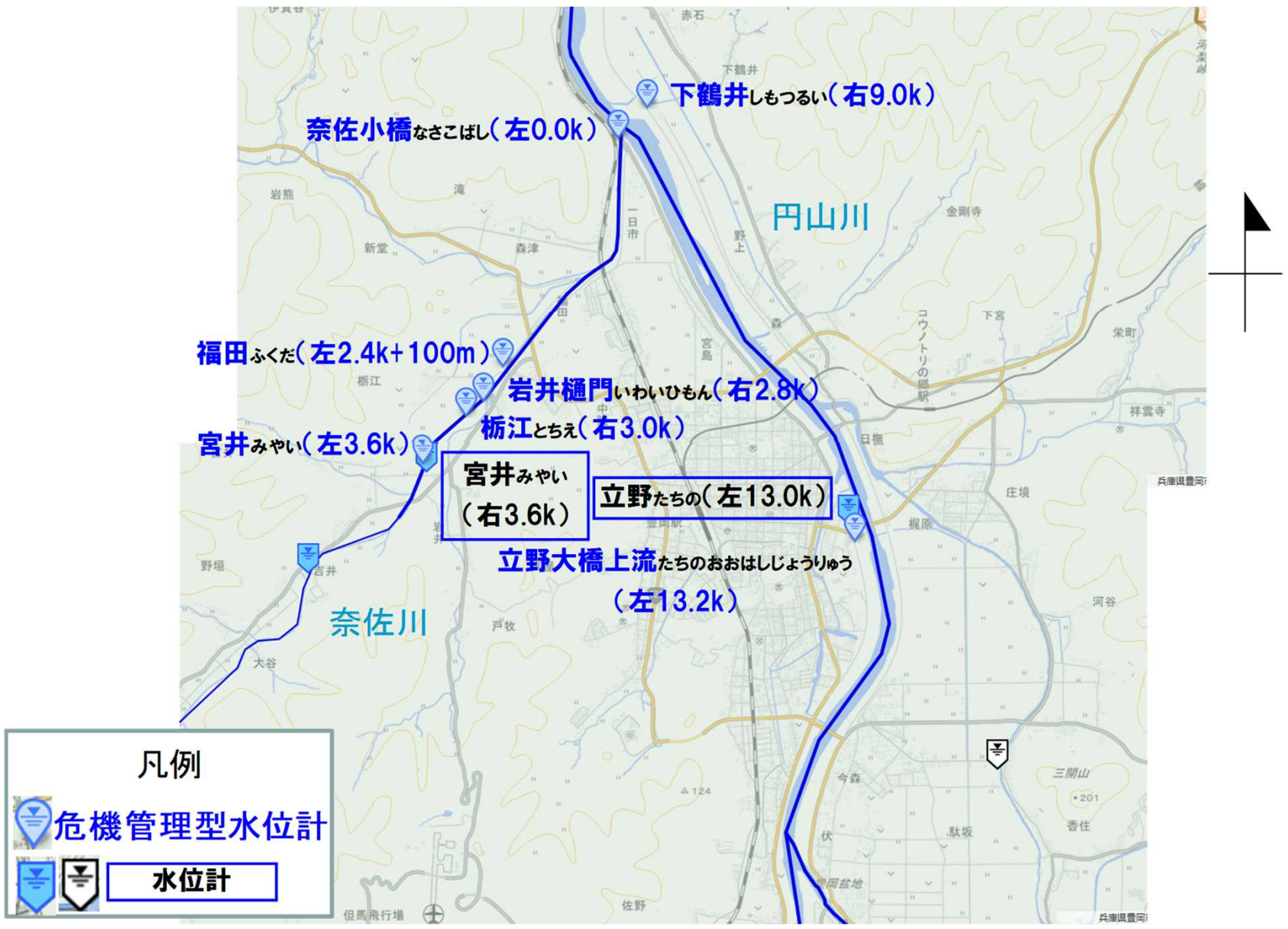
危機管理型水位計

水位計の位置 1/4



危機管理型水位計

水位計の位置 2/4

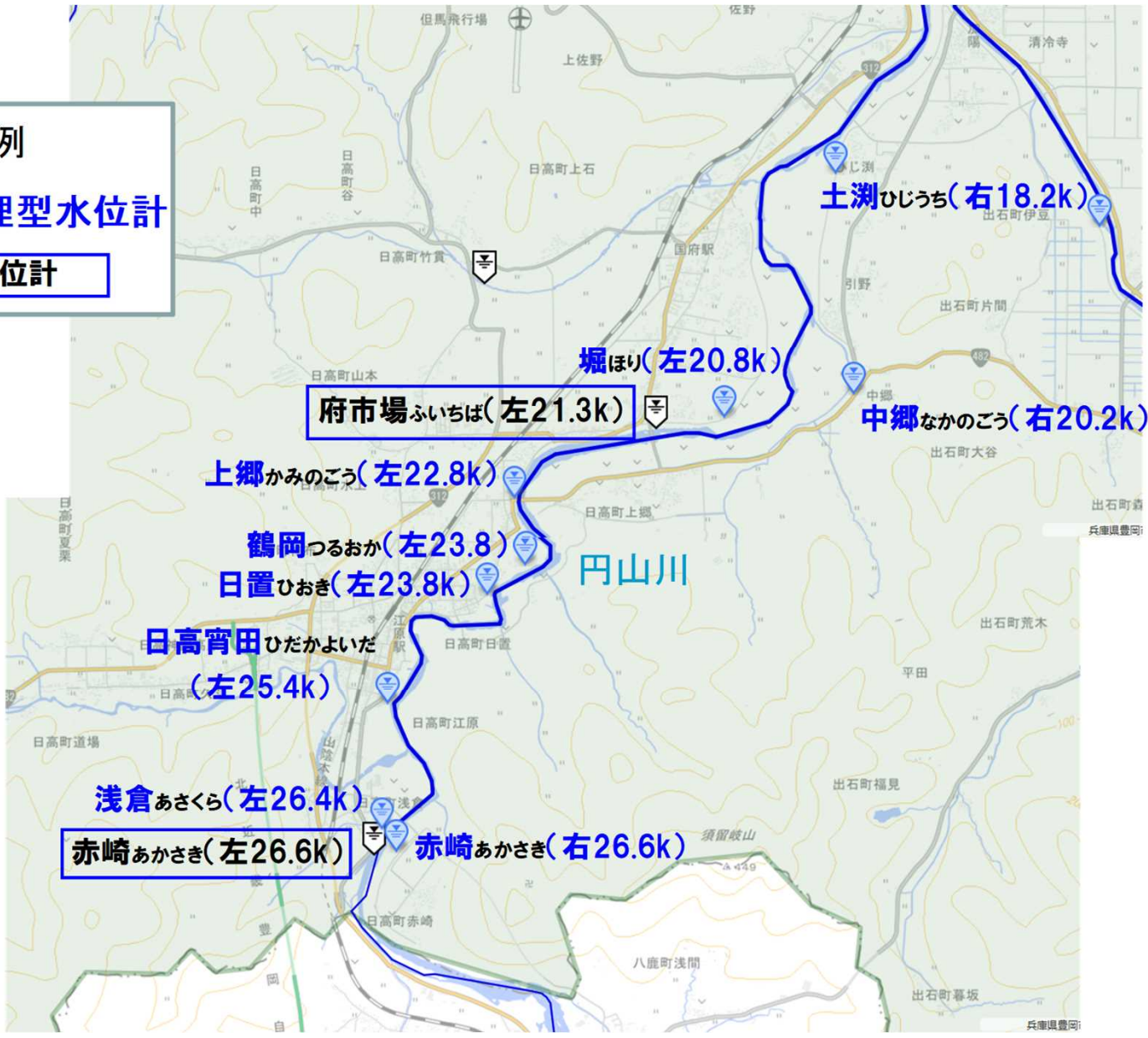


危機管理型水位計

水位計の位置 3/4

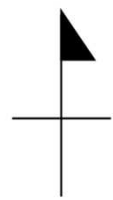
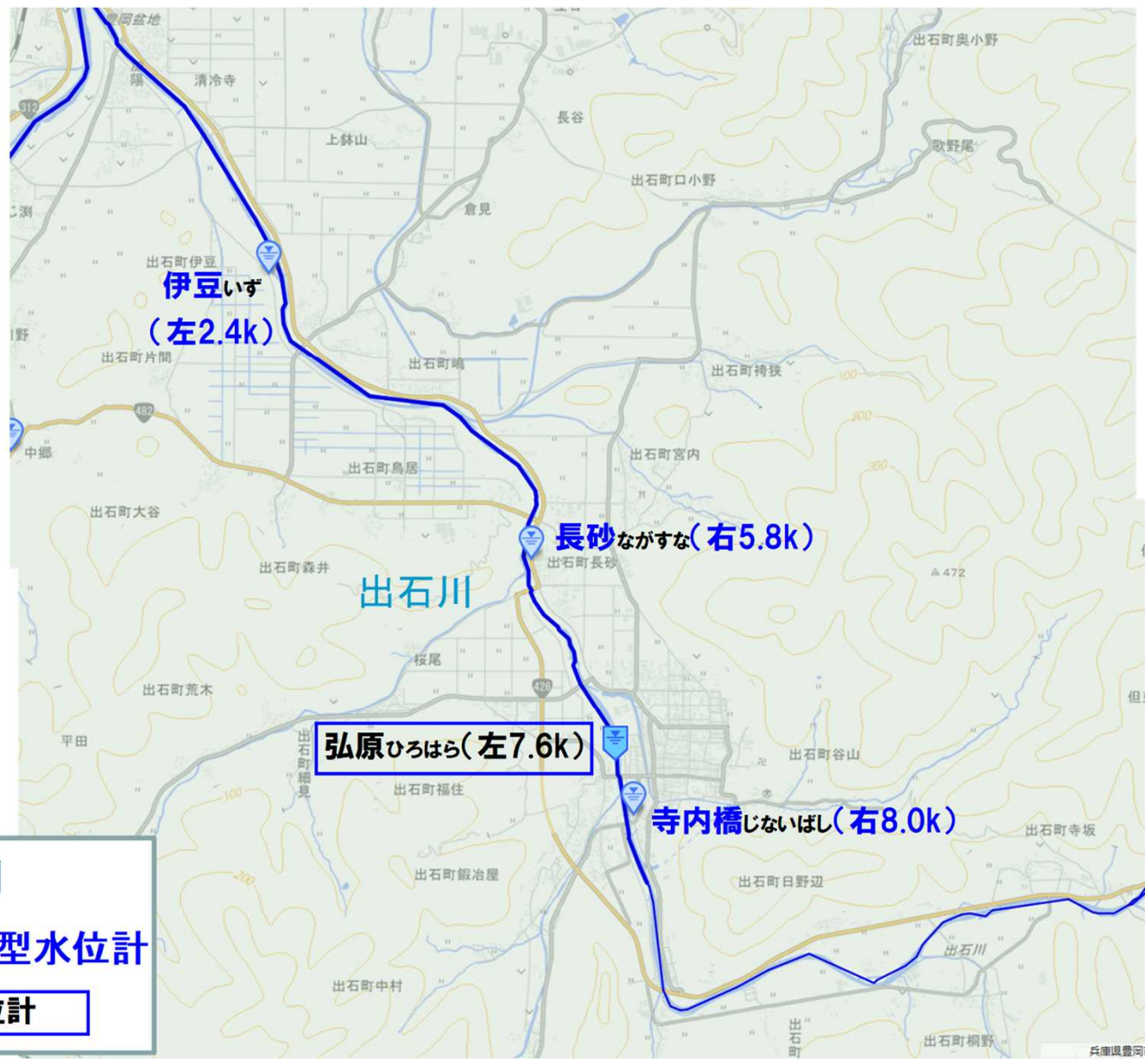
凡例

-  危機管理型水位計
-  水位計





危機管理型水位計

水位計の位置 4/4



凡例

 危機管理型水位計

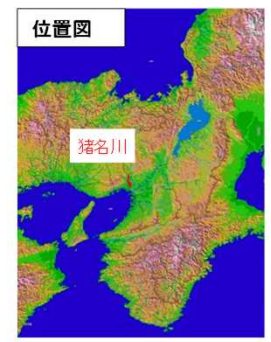
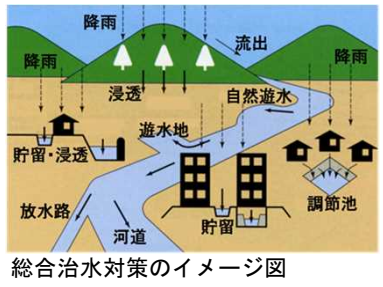
  水位計

【猪名川流域の概要】

- 猪名川流域は、大阪府・京都府・兵庫県の2府1県にまたがり、人口・資産が集中する典型的な都市河川
- 上流の兵庫県指定区間に位置する銀橋周辺の狭窄部多田地区は洪水による浸水常襲地帯
- 猪名川は神崎川の支川で、下流の神崎川は大阪府・兵庫県が管理している

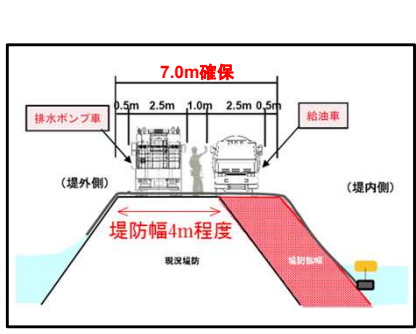
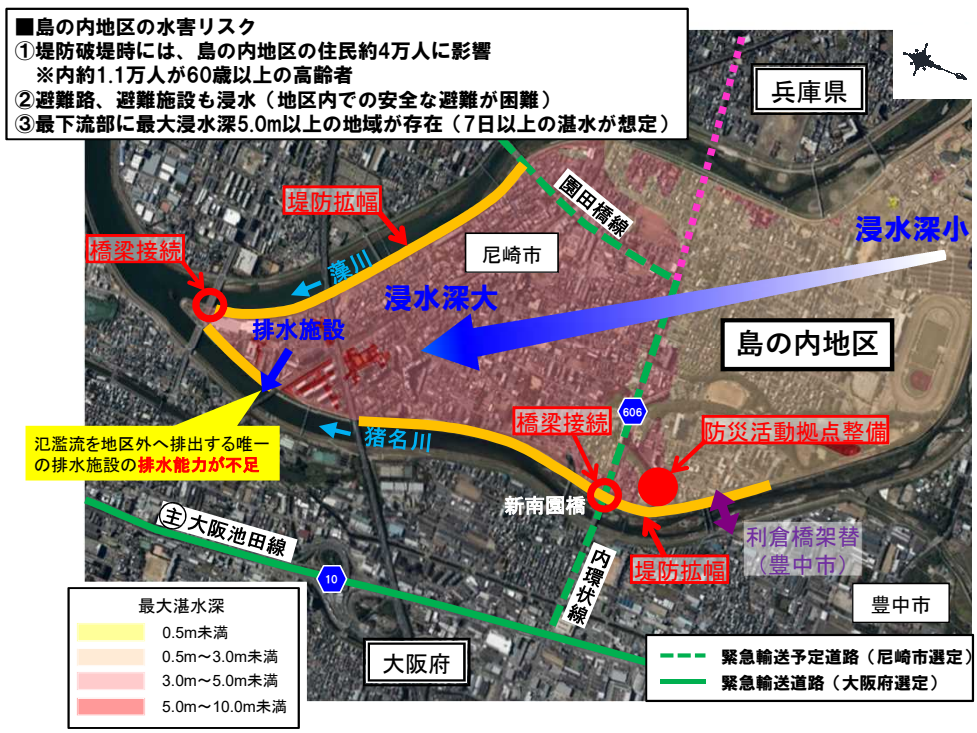
総合治水対策の取組を続けています

■総合治水対策事業
 猪名川流域の総合的な治水対策推進を目的に、昭和55年9月に「猪名川流域総合治水対策協議会」が設置され、調整池整備などの流域対策を推進し、洪水被害の軽減を図っています。

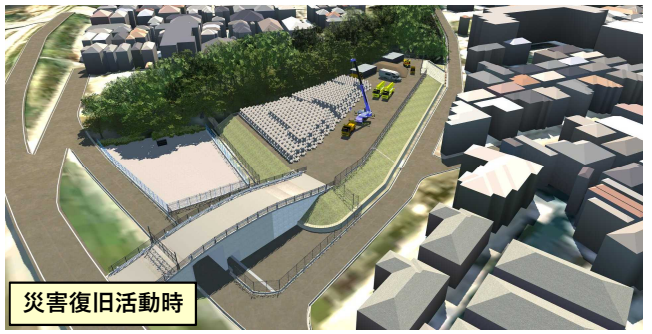


【島の内水害に強いまちづくりプロジェクト事業】

猪名川・藻川に挟まれた島の内地区は、水害リスクの非常に高い地域



堤防拡張のイメージ



防災活動拠点整備後のイメージ

防災活動拠点整備等により水害に強いまちづくりを推進

■整備スケジュール

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	～令和8年度
地元・関係機関協議					
国 防災拠点整備					
堤防強化					
国 利倉橋架替工事		左岸側下部工	右岸側下部工		
豊中市 仮橋設置				上部工	仮橋撤去

■整備効果

- 緊急車両・作業車のアクセスが可能となり、**緊急の災害復旧が可能**
- 洪水発生時に**円滑な水防活動が可能**

●before (防災拠点整備前)



●after (防災拠点整備後)

